

複数のディレクトリをマイクロソフト アクティブ ディレクトリに統合し、投資を迅速に回収する

自動化ユーティリティによりデスクトップPC 一台あたり630ドルで移行、150万ドルを節約

シスコシステムズの IT グループでは、従来、アプリケーションやデスクトップ OS ごとに異なるネットワーク オペレーティングシステム (NOS) ディレクトリと LDAP ディレクトリを管理してきました。しかしこれには様々な問題があったため、企業ディレクトリを加えたディレクトリの統合を検討してきました。

ビジネス上の利点

- 移行の自動化
- 自動プロビジョニング
- ネットワークトポロジ情報の自動更新
- 全世界共通のサーバ設定
- 16ヶ月で投資を回収

「ウェブベースのプロキシ管理は、グローバルに分散したサービスを、中央管理サーバを通じて提供するための方法です。世界中どこにいても、アクティブディレクトリは同じ動作をします」—Dave Jones, Directory Services Architect, Cisco Systems

ラボ環境だけでも 50 種類にのぼる、多様な NOS、LDAP ディレクトリサービスを管理するには、様々な問題がありました。まず、ユーザは各システムへログインするために複数のアカウントとパスワードを管理しなければなりません。また、管理者はそれぞれのシステムを操作できなければならない、開発者はアクセスするディレクトリごとに異なるコードを記述する必要があります。さらに、シスコ IT ではディレクトリごとに操作訓練費用がかかりました。また、SOX 法への準拠も困難でした。

シスコ IT は、NOS ディレクトリと企業ディレクトリをマイクロソフト アクティブ ディレクトリへ移行することで、こうした問題を解決しました。アクティブディレクトリはシスコのグローバル WAN 上で、全世界 12ヶ所に分散配置され、各地の従業員の認証は最寄りのディレクトリがローカルに行います。

移行自動化ユーティリティにより、デスクトップ1台あたり 630ドルで移行を実現しました。業界平均の 2100 ~ 3000ドルと比べると大幅な節約です (Gartner 調べ)。また、一括移行での節約額は 150万ドルにのびります。

自動プロビジョニング: およそ 100 種類の自動プロビジョニング スクリプトが、マスターデータベースから、従業員の入・退社情報などの変更を察知しプロビジョニングするため、管理コストは大幅に減少しました。

ネットワークトポロジの自動更新: 日々最新のトポロジ情報を維持するため、シスコ IT は、設定ファイルを自動的にシスコルータから読み出し、新しいトポロジ情報をアクティブ ディレクトリに書き込むスクリプトを記述しました。

16ヶ月で投資を回収: Windows サービスの運用経費節約額は 230万ドルにのびります。UNIX サービスでは SunOne に比べ 200万ドル、Sun Network Information Service (NIS+) に比べると 430万ドルの節約となります。

シスコは、48ヶ月以内に、Windows サービスだけで 230万ドルの運用経費を削減する見込みです。

その他、各ビジネスソリューションに対する Cisco IT の事例研究は、
Cisco IT @ Work をご覧ください
<http://www.cisco.com/jp> (シスコシステムズ→Cisco IT@ Work)

付記

この文書に記載されている事例は、シスコが自社製品の展開によって得たものであり、この結果には様々な要因が関連していると考えられるため、同様の結果を別の事例で得られることを保証するものではありません。

この文書は、明示、黙示に関わらず、商品性の保証や特定用途への適合性を含む、いかなる保証をも与えるものではありません。

司法権によっては、明示、黙示に関わらず上記免責を認めない場合があります。その場合、この免責事項は適用されないことがあります。

©2004 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、登録商標または登録サービスマークです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館
<http://www.cisco.com/jp>

お問合せ先(シスココンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

© 2004 Cisco Systems, Inc. All right reserved.

Important notices, privacy statements, and trademarks of Cisco Systems, Inc. can be found on cisco.com

Page 2 of 2